

炎暑

えんしゅ

真夏の焼け付くような暑さ。
ギラギラと照りつけるような、
眩しくて強さを感じる太陽の日
差しが、畑で作業中の背中に。



畑でふと見上げる空模様にも、夏を感じます。
京都は6月半ばに猛暑日を観測。急な湿度の高さには、ベテラン農人たちも一瞬気圧されてしまいます。露路栽培で
のものづくりにこだわる分、体調管理も重要な仕事です。

今月の ことねぎ

今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でどのように育ったものなのか、物語（事）を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

夏葱のお届けが始まりました

7月にお届けするのは、3月の後半から4月にかけて定植を行った、亀岡・美山・丹後で育った夏葱になります。根付きのものは美山地域で育ったものがメインとなり、この初夏の時期らしく、すらっと伸び、夏葱特有のピリッと酸味のあるものをお届け。今シーズンは、例年以上に「べと病」や「さび病」の発生しやすい自然環境に苦戦しました。手にとっていただけるお客さまに良いものをお届けすべく、品質維持に努めた日々を思い返します。手塩にかけた夏葱、ご賞味ください。



農人たちの畑での作業の様子、THE 農業！の現場の「こと」を発信



畑周りの雑草たちの伸びるスピードがさらに早くなっています。



収穫を始める前の一コマ。空かごをねぎいっぱいになります！

梅雨明けの夏に向けて

例年より梅雨入りが遅れている傾向にあるため、各地域梅雨入りまでの貴重な晴れ間を狙って、良い条件下での土づくり（畝立て作業）を協力しあいながら進めました。また、朝から雨で作業ができなくとも、車両点検や農機メンテナンスをいつも以上にしっかり行い、有効活用しました。

昨年入社した3名の農人たちも各生産現場で、トラクター等のオペレーター業務にも携わり、生産現場を支えています。今年入った農人たちも、収穫作業以外の草刈り等の仕事にも触れる機会も多く、ひたすら地道なことでも、色々と農業という仕事の面白味も味わっているようです。

また、これからさらに日中暑い日が続く、湿度の高い京都盆地の畑での戦いも控えています。風が吹く、吹かないだけでも疲労感を大きく左右します。仲間と鼓舞しあい、ねぎ作りに努めます！

とある日の農人日記。

生育調査を行いました。丹後での収穫が始まります。何とか収穫出来る長さには到達しましたが、6月後半時点ではまだ一部です。滞りなく収穫出来るよう、もうあとひと伸び欲しいところです。（丹後・浅尾）

古都・事・言 3つの「こと」を伝えます

ことわざだより

NO.206

2024年7月号

TEL: 075-601-0668

こと京都株式会社

KOTO GROUP

4A



春葱



こと京都は
「野菜を食べてよう」
プロジェクトの
サポーター企業です

私たちは、農林水産省が実施している本プロジェクトの趣旨に賛同し、九条ねぎを通じて野菜の消費拡大に取り組みます。